

第66回日本弁護士連合会人権大会プレシンポジウム（オンライン）

# 洋上風力発電の現在の状況と将来の海鳥への影響

## 【講演】

早稲田大学人間科学部  
風間健太郎教授

道央鳥類調査グループ  
先崎啓究氏

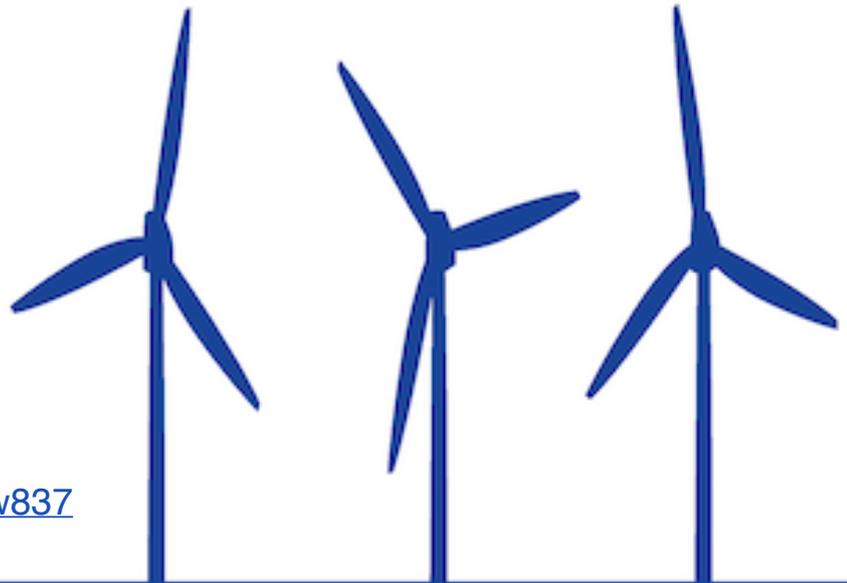
## 【報告】

札幌弁護士会  
公害対策・環境保全委員会

地球温暖化対策として再生可能エネルギーの拡充が必要とされ、ポテンシャルの高い北海道の洋上風力発電への期待は大きく、現在既に多くのプロジェクトが進行している。他方で、北海道の沿岸の多くは多種の海鳥の繁殖地となっており、その影響が懸念される。海域再エネ利用法等の制度内容等を踏まえ、現在の洋上風力発電開発状況を整理しつつ、海鳥への影響とその低減の可能性を考える。



<https://forms.gle/DuRnV4d7EH7bQw837>



日時：2024年8月27日（火）17：00～19：00

場所：オンライン開催（ZOOMウェビナー）

申込：上記QRコード又はURLから1週間前までにお申し込み下さい

（主催）札幌弁護士会

（共催）日本弁護士連合会・北海道弁護士会連合会